

受託業者を特定するための評価基準

別紙 1

業務名：大和民俗公園における事業可能性調査業務委託（単独都市計画公園事業）

●配置予定技術者（企業）の経験及び能力等

評価項目				評価の着目点	技術点			
				判断基準	統括責任者	担当者(※2)	小計	合計
配置予定技術者（企業）の経験及び能力※3	資格・実績等	資格要件	技術者資格	技術者資格を次のとおり評価する。 ①技術分野に関する高度な専門的知識と応用力を有する資格（（技術士（総合技術管理部門（建設）「都市及び地方計画」）又は（建設部門「都市及び地方計画」）） ②R C C M「造園部門」 ③上記①②以外	① 2 ② 1 ③ 0	① 2 ② 1 ③ 0	4	2 0
		専門技術力	業務執行技術力①	平成26年4月1日以降、本業務における公告日までに完了した同種業務又は類似業務の実績を次のとおり評価する。 （照査技術者としての実績は評価しない。） 同種業務A：歴史的資源を活用した観光まちづくり調査（※1※4） 同種業務B：歴史的資源の活用に関する民間活力導入可能性調査（※1） ①AかつBの実績がある ②AまたはBの実績がある ③上記①②以外	① 6 ② 3 ④ 0	① 4 ② 2 ④ 0	1 0	
		情報収集力	地域精通度	平成26年4月1日以降、本業務における公告日までに完了した奈良県発注の下記業務実績の有無について、次のとおり評価する。 ①大和郡山市における業務実績あり ②上記①以外の奈良県内における業務実績あり ③上記①②以外	① 3 ② 1 . 5 ③ 0	① 3 ② 1 . 5 ③ 0	6	

※1 国又は地方公共団体が発注した業務に限る。

※2 担当者が複数の場合は、全担当者の実績の平均で評価する。

※3 「配置予定技術者（企業）の経験及び能力」の状況等を明確に判断できる資料が添付されていない場合は、加点しない。

※4 「歴史的資源」とは、地域や国の歴史・文化・伝統を反映する有形・無形の資産のこと。

●業務の実施方針

評価項目				評価の着目点	技術点		
				判断基準	評価点	小計	合計
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度			目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	※※	6	2 2
	実施手順			業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。		4	
				業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。		4	
	その他			業務内容に適した実施体制となっている場合に優位に評価する。		8	

●評価テーマ

評価項目				評価の着目点	技術点		
				判断基準	評価点	小計	合計
評価テーマに関する技術提案	評価テーマ1 「民間事業者へのヒアリング調査」について			①大和民俗公園の歴史的資源、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 ②歴史的資源を活性化に寄与する事業を条件整理するうえでの着眼点が具体的かつ的確に示されている場合に優位に評価する。 ③ヒアリングする事業者を抽出するうえで、歴史的資源を活用した実績等を明示されるなどの考え方が明示されている場合に優位に評価する。	※※	6 8 8	5 8
	評価テーマ2 「事業手法の検討」について			①事業手法の最適案を選定するうえでの着眼点が具体的かつ的確に示されている場合に優位に評価する。		1 4	
	評価テーマ3 「公園を中心とした周辺地域における事業展開に向けた基本方針の検討」について			①周辺地域の歴史的資源、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 ②公園を中心としたエリアの将来像を決めるうえでの着眼点が具体的かつ的確に示されている場合に優位に評価する。 ③コンセプトを決めるうえでの着眼点が具体的かつ的確に示されている場合に優位に評価する。	※※ ※※	8 8 6	

評価項目	評価の着目点		技術点		
	評価項目	評価基準	評価点	小計	合計
参考見積	業務コストの妥当性 業務量の目安として示した限度額を超えている場合、又は、見積項目が不足している場合は特定しない。		—		

合計							1 0 0
----	--	--	--	--	--	--	-------

※※ の評価点は、審査員による5段階評価（1 0 0 % ・ 7 5 % ・ 5 0 % ・ 2 5 % ・ 0 %）を行い、その平均点により算出する。

技術点は、小数第3位を切り捨てし小数第2位まで算出する。